



港区新橋5-15-5 国鉄労働組合中央本部 03-5403-1640 発行人 松川 聡 編集責任者 瀧口良二 (組合員の購読料は組合費の中に含む)

月間白話

6・2 インドで鉄道列車衝突事故、290人が死亡、約1千人以上負傷、信号整備不良と安全対策不備が原因でトラブルが相次ぐ中、マイナ保険証を義務化する、6・8 防衛産業強化法が成立、赤字事業に税金投入、6・9 人権問題が危惧される改正入管難民法が成立、6・14 岐阜の陸上自衛隊射撃場で銃撃事件、3人死、18歳自衛官候補生逮捕、6・16 防衛財源確保法案とLGBT理解増進法が多くの疑問や懸念を残して参議院本会議で可決・成立、6・21 第211回通常国会が閉会、審議不十分なままに提出法案58本が成立、6・22 全漁連が原発汚染水海洋放出反対の特別決議、6・23 沖繩の日追悼式挨拶で岸田首相と玉城県知事が防衛力強化めぐり隔たり、▽ロシア民間軍事会社ワグネル武装反乱、プーチン大統領は裏切りの反逆と非難、6・30 建設アスベスト訴訟で大阪地裁は12社に計約9億4千万円の賠償命令

国労家族会全国連合会第57回解散大会

国労家族会60年の歴史に幕

国労家族会全国連合会は6月10日、広島国労会館において第57回解散大会を開催し、来賓・中央常任委員・代議員・傍聴者を合わせ45名が参加する中、1963(昭和38)年10月の第1回結成大会以来、60年の歴史に幕を閉じた。



第57回解散大会参加者



平和学習(原爆ドーム前)

今大会は、解散という節目の大会でもあり、来賓には元会長の松本治美(岡山)・柳瀬つる代(九州)の各氏、前会長の小原鏡子氏(東京)、元事務局長の太田静子氏(東京)が臨席された。15時、丸岡中央常任(広島)の開会挨拶に始まり、議長に丸山代議員(東京)、副議長に坂口代議員(近畿)を選出し、議事に入った。

黒澤会長(札幌)が家庭の事情により欠席のため、石田中央常任(九州)が会長代理挨拶。国労本部からは岩元書記長、地元広島地本からは中野副委員長が挨拶を受けた。

全国連合会の解散は、コロナ禍のなか開催された2020年10月の前回大会(書面開催)において既に表決されており、今大会では3年余りの2020・2021・2022(期中)年度経過報告と議題として、①2020・2021・2022(期中)年度決算について、会計監査報告、②2022年度決算後の収支剰余金の処分について、③国労家族会全国連合会の解散承認についての3件が提案され、全体の拍手で承認された。閉会後には記念撮影。また、会場を広島ガーデンパレスホテルに移し、夕食をともにしながら地方家族会の近況を報告しあい、懇親を深めた。

翌日は、徳永広島地本書記長を始め3名の広島被団協の案内を頂きながら、平和学習として、①旧広島陸軍被服支隊、②広島平和記念公園碑巡り・資料館見学、③国鉄原爆死没者慰霊碑参拝をし、正午、JR広島駅新幹線口にて解散した。2日間を通して全体で確認されたことは、国労家族会全

約束反故の汚染水 海洋放出は許さない

国際原子力機関(IAEA)は7月4日に、東京電力の海洋放出計画は「国際的な安全基準に合致し、海洋放出で放射線が人や環境に与える影響は「無視できるほどごくわずか」と評価した包括的報告書

宮里邦雄弁護士を偲ぶ会開催される

東京共同法律事務所・日本労働弁護団共催による「宮里邦雄弁護士を偲ぶ会」が、宮里先生の誕生日にあたる7月1日に「アルカディア市谷」で開催された。



宮里邦雄弁護士を偲ぶ会

「宮里邦雄先生との思い出」の解決に至った困難な局面の話などが語られた。第一部では、東京共同法律事務所を代表して、山口広弁護士から、宮里先生の病状の経過と、本日の偲ぶ会を催すことになった経緯についての説明を含めての挨拶が行われた。

続いて、徳住堅治弁護士、菅野和夫東京大学名誉教授、高橋伸二元国労中央執行委員長の挨拶があり、高橋元委員長からは、23年間に及んだ「採用差別事件」の解決に至った困難な局面の話などが語られた。第一部の厳かな中にも、宮里先生の人格がにじみ出た雰囲気の中、第二部に移った。

岸田文雄首相に手渡した。これに続き原子力規制委員会は7日、東京電力が福島第一原発の放射能汚染水(ALP処理水)の海洋放出のために施工した海底トンネル建設工事に対し、使用前検査の

を終了証を東京電力に出した。これにより設備は使用できる条件が整い、いつでも海洋放出できる状況となり、夏頃の海洋放出が予定されている。東京電力は、汚染水について「トリチウムは体内に取り込んで排出される」などとして安全性を強調してきたが、ALPS(多核種除去設備)でトリチウム以外の様々な放射性物質を除去することは困難であり、これから数十年にわたって行われる海洋放出で環境や生態系に対する悪影響が懸念される。

事実をひた隠しながら、問答無用とばかりに進む放射能汚染水の海洋放出に対して、さような原発1000万人アクション実行委員会の呼びかけで、10日の昼間に首相官邸前で「汚染水を海に流すな!首相官邸前緊急抗議行動」が取り組まれ、夜には連合会館にて「汚染水を海に流すな!7・10緊急集会」が開催された。

組織拡大

九州本部・北九州地区本部・北九州西・筑豊分会・直方運輸センター運輸士63歳 7月7日付

幕進

本年2月5日に逝去された宮里邦雄弁護士に改めてお悔やみを申し上げます。日本労働弁護団と東京共同法律事務所の共催により開催された、宮里邦雄弁護士を偲ぶ会に国労からも出席をさせて頂いた。国労はこの間、国鉄不採用事件をはじめ様々な場面において、宮里邦雄弁護士に大変お世話になってきた事は言うまでもない。自身の事を考えると、本部青年部の役員として定期全国大会などに出席した際に、常任弁護団報告などを聞く機会があったが、その中で強く記憶に残っているのは「団結なくして勝利なし」「団結なくして解決なし」との言葉である。偲ぶ会では、各界から追悼の言葉などの挨拶があったが、みなさんが国労の闘いを話されていたのが印象的であり、国鉄不採用事件など激動の時代にどうした動きがあったのかの話もあり、国労運動を振り返る機会となった。現在の国労の状況は、長い歴史の中でも厳しい中での闘いになっていくが、組合員の団結により乗り越えていく決意を改めて新たなものとしたい。本部役員就任以降も、宮里邦雄弁護士の講演などを聞く機会もあったが、その中においても何度か国労の話が出てくることや、国労の役員が出席しているなどの紹介もあり、運動を進めていく励みにもなった。宮里邦雄弁護士への恩返しは、職場からの運動を通じて、労働者が主役の社会を創っていく事ではないかと思う。安心して働きたい。 (岩)



国労本部HP QRコード

旅客6社増額、貨物は2年連続の減額

国労の2023夏季手当の取り組みは、春闘期に確定しているJR東海・西日本・九州を除く、3旅客会社と貨物に対して、「前年度実績を上回る要求月数」を申し入れ、団体交渉を積み重ね、6月22日に全社回答が出揃った。旅客6社は前年比増額となったが、貨物は2年連続の減額となった。

JR東日本は6月7日、基準内賃金の2.5カ月分+5万円とする回答を示した。国労は、「3期ぶりの黒字化は社員の努力と苦勞の結果であり、社員・家族の期待が大きき高まっていた。しかし本日示された回答はそれらの思いに及んでおらず、残念ながら、受け入れられない」と再考を求めた。

JR北海道は6月21日、基準内賃金の1.71カ月分、7月4日を支払日とする回答を示した。国労は、「全ての社員は『鉄道員の使命』を持って、JR北海道の発展を支えている事を全

JR四国は6月21日、基準内賃金の1.59カ月分、7月7日を支払日とする回答を示した。国労は、「コロナ禍の中、組合員は安全安定輸送と感染対策に、しっかりと取り組み安全を守ってきた。それらの努力に対しての部分について、もう少し評価されるべきと考える。要求との乖離があるの

で、この場では判断できない」として持ち帰り検討とした。ソフトバンクは6月5日、基準内賃金の3.70カ月分、7月7日を支払日とする回答を示した。国労は、「2022年度は業績が好調で、賃金アップの要求は当然である。しかし、この場では判断できない」として持ち帰り検討とした。

2023年度夏季手当の回答状況 2023年6月 国鉄労働組合

会社名	本年度実績	前年度実績	支払日	前年比	回答日
北海道	1.71カ月	1.60カ月	7月4日	0.11カ月増	6月21日
東日本	2.5カ月+5万円	2.30カ月	6月27日	0.2カ月増+5万円	6月7日
東海	2.70カ月	2.20カ月	6月30日	0.50カ月増	3月17日
西日本	2.10カ月(年間臨給4.20カ月)	1.34カ月+5万円	6月30日	年間臨給給増1.06カ月	3月15日
四国	1.59カ月	1.35カ月	7月7日	0.24カ月増	6月21日
九州	2.15カ月	1.64カ月	6月30日	0.51カ月増	3月17日
貨物	1.62カ月	1.72カ月	7月7日	0.1カ月減	6月16日
ソフトバンク	3.70カ月	4.20カ月	6月30日	0.5カ月減	6月5日

2023 夏季手当

基本給×2.5カ月+特別加算1.2カ月分とする回答を示した。本部は6月9日、「嘱託社員の労働条件改善について引き続き議論していく」と確認し、組合員との協議を踏まえ妥結した。

投稿



結びつきを強め組織拡大につなげよう

北海道本部は6月17日、札幌市内において、第3回拡大組織対策委員会を開き、中央本部から岩元書記長、西日本本部から大北書記長に参加いただき、組織拡大運動の前進に向け、意思統一を行っていった。

会議では越前執行委員の開催挨拶、以降の司会進行ではじまり、はじめに「組織拡大・全国統一行動北海道対策本部」の部長である伊藤委員長より北海道本部を代表して挨拶が行われた。

続いて、岩元本部書記長に中央本部を代表しての挨拶と、本部からの報告及び提起として23春闘、夏季手当獲得に向けた取り組みや全国の組織拡大状況等の報告をいただき、組織拡大を勝ち取るために必要なこと、国労を知ってもらうための取組等について



北海道本部第3回拡大組織対策委員会

JR貨物は6月16日、基準内賃金の1.62カ月分とする回答を示した。回答は、前年比0.1カ月分減額、2年連続の減額となる極めて不満の残る回答であった。本部は回答後、貨物会社の低額回答に対し、闘争指示第66号を発し、本社・支社に対する抗議の取り組みを6月23日まで実施した。本部は6月23日、「夏季手当満額獲得に向けた全

国からの奮闘、創意工夫した取り組みに感謝し、2023年度夏季手当について妥結する」との本部見解を発した。尚、JR各社の回答は、国労統一要求からかけ離れた回答であったが6月23日をもって、全社で妥結整理を図った。

米坂線早期復旧について 沿線自治体と意見交換

新潟県の坂町駅と山形県の米沢駅を結ぶJR東日本・米坂線は昨年8月の豪雨で被災した。記者会見でJR新潟支社は、

以降4名の組織拡大について、取り組みの報告をいただいた。北海道本部としても今後の取り組みの参考として、大いに学んでいかなければならない。

その後、北海道本部からの提起が鳥見組織部長から行われ、現在の北海道本部と他労組の組織状況の報告と組織拡大に向けた具体的な運動の展開について提起された。

続いて、西日本本部の大北書記長より、昨年の全国大会

多党派組合に加入しましたが、親が国労組合員と繋がりがあつたこともあって、ご縁だと思いい国労加入を決めました。

米坂線早期復旧について、沿線自治体と意見交換。新潟県側で約31億円を復旧に要する見込み」と発表した。国労新潟県本部では、米坂線の早期復旧に向け、6月29日に新潟県労働連の藤田議長・田家事務局長、建交労の富井書記長と新潟県本部の藤井副委員長で、午前

に村上市、午後に関川村との意見交換を行い、村上市では企画戦略課、関川村では地域政策課に対応して頂いた。

守るべき家族のためにも安全で健康に働き続けられる職場を目指す

東日本本部青年部書記長 坪井大地

任委員に就いてからは、青年部の仲間と共に、時には真面目に時には楽しく任務に当たっています。全国の仲間が集まる泊まりがけの会議や交流会では、夜通し(お酒を含めた)議論をした結果、翌日にほとんど頭が働かなくなったりと、たくさんの経験を頂きました。

世の中も会社も新型コロナウイルスの流行などで大変な状況になり、早くも数年が経ちますが、利用者が求めている鉄道の使命を忘れてはいけません。

昨年、私には共に生涯を歩むパートナーが出来ました。一家の大黒柱として家庭を引っ張っていく決意です。今年2月の東日本拡大委員会では団結ファンローの前提でその近況報告を諸先輩の前で行いました。

今後は自分や仲間、そして守るべき家族のためにも、安全で健康に働き続けられる職場や会社を目指してこれからも声を上げていきます。

生きるためのがん保険Days1 WINGS

項目	金額
精密検査	2万円
診断	50万円
入院	10,000円
通院	10,000円
治療	10万円
外見ケア	20万円

No.1 アフラック

「がんかもしれない」と思ったときから専門知識を持つ相談員が親身にお応えします。

アフラック

東日本本部青年部書記長 坪井大地

生きるためのがん保険Days1 WINGS

契約年齢:0歳~満85歳まで

年齢	男性	女性
20歳	2,833円	3,133円
30歳	3,904円	4,255円
40歳	5,702円	5,883円
50歳	8,663円	7,112円
60歳	13,644円	8,595円

がん保険にできることを、もっと。

「生きる」を創るがん保険 WINGS

1 幅広い保障で経済的負担をサポート

2 付帯サービスがアフラックのよりそうがん相談サポート

アフラックのよりそうがん相談サポートがさまざまな悩みの解決をサポート

「がんかもしれない」と思ったときから専門知識を持つ相談員が親身にお応えします。

アフラック 東日本本部青年部書記長 坪井大地

生きるためのがん保険Days1 WINGS

契約年齢:0歳~満85歳まで

項目	金額
精密検査	2万円
診断	50万円
入院	10,000円
通院	10,000円
治療	10万円
外見ケア	20万円

アフラック 東日本本部青年部書記長 坪井大地